

平成30年度第1回理事会承認
平成30年度定時総会報告

平成29年度

事業報告書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

総括

平成29年度は、28年度に対しトレーニングフライト、体験飛行とも、運航実績はほぼ横ばいであった。

27年度から実施しているグライダー競技講習会は、今年度第3回を行い、内容に充実が図られ、ある程度の成果が見られたが、28年度からの懸案であった、参加者がさらに意欲的に取り組むためのプログラム作りをする必要がある。

ヴィンテージグライダーに関しては、複座グライダーMG19を用いた体験飛行の実施およびイベントにおいてMG19およびミニモアの編隊飛行の実施などを行い、一般の市民にヴィンテージグライダーのPRを行った。今後、これらの機材を用いて、ヴィンテージグライダーの認知度向上を図り、合わせてグライダースポーツのPRを行う。

今までになかった取り組みとして、海外からのグライダー操縦練習生の受け入れを行った。今後も、積極的に海外を含めた、新たな操縦練習希望者を受け入れていく方針である。

安全運航に関しては、27年度に策定した安全対策を遵守し、事故の発生を防止することができた。今後も現状の体制を維持し、事故の抑止に努める。しかし、事故はいかなる状況下で発生するか予測できないことから、危険予知を図り、二度と事故を起こさないことを最優先にして、事業に取り組んでいく。

事業活動

I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

グライダー・モーターグライダー運航は、4月15日（土）から11月10日（金）まで行った。運航実績は、以下のとおりであった。（括弧内の増減数は、対前年比）

- ・運航日数：166日（4日増）
- ・運航割合（運航した日数/運航期間の日数）：79%（2%増）
- ・グライダーの飛行回数：2,755回（15回増）
- ・グライダーの飛行時間：1,433時間（7時間減）
- ・モーターグライダーの飛行回数：339回（64回増）
- ・モーターグライダーの飛行時間：387時間（62時間増）

1. グライダースクールにおける操縦に関する指導

① グライダースクールを実施した。

- ・サマートレーニングコース
実施回数：7回
延べ参加人数：265名（49名増）
飛行回数：771回（208回増）
飛行時間：431時間（14時間減）
- ・ウィークリーコース（シーズン中の平日に随時実施）
飛行日数：54日（7日減）
飛行回数：193回（48回減）
飛行時間：150時間（41時間減）
- ・ウィークエンドコース（シーズン中の土日祝日）
飛行日数：58日間（2日増）
飛行回数：1,206回（49回減）
飛行時間：1,145時間（38時間増）

② グライダーキャンプ

- ・大阪大学等OB会
7月31日（月）～8月4日（金）
参加人数：のべ56名（22人減）
飛行回数：90回（57回減）
飛行時間：84時間（22時間減）

2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。

自社機を含む常駐機：29機

外来機：6機
出張整備：2機
また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務を実施した。
検査件数：30件

3. 特定操縦技能審査を実施した。
審査件数：30名（滑空機25名、軽飛行機5名）

4. 滝川グライダー競技講習会2017を実施した。
今後予定しているグライダー競技会の開催のために、競技会の運営ノウハウの習得、北海道における競技ポテンシャルの検証を行うとともに、講習会参加者の競技技術向上を目的とした講習会を実施した。なお、スポーツ振興くじ助成金および（一財）石狩川振興財団支援助成事業助成金を活用した。
開催期間：5月22日（月）～6月4日（土）
参加人数：延べ68名
飛行回数：67回
飛行時間：145時間

5. 各種受験に関する指導を行った。

- ① 航空従事者技能証明等試験の実地試験を受け入れた。
実地試験には、4名受験した。（1名増）
9月7日（木）～8日（金）
事業用（動滑）1名、事業用（上滑）1名が受験し、合格した。
10月10日（火）～12日（木）
自家用（動滑）1名、自家用（上滑）1名が受験し、合格した。
- ② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験
クラブ会員及びスクール参加者に対して、8件実施した。
（8件減）

A章 3件
C章 1件
銅章 2件
滞空1時間 1件
滞空5時間 1件

6. アシスタントインストラクター制度を活用した。
インストラクターの養成を推進する奨励制度を活用して、2名に対して支援を行った。
飛行回数：7回
飛行時間：3時間16分

7. 各種講習会を実施した。

- ① 北海道滑空協会が開催した、北海道滑空協会指導者講習会を主管した。
テーマ：異常姿勢からの回復操作の実施
主催：北海道滑空協会
協力：（公社）北海道スカイスports協会
実施期間：9月23日（土）～9月24日（日）
講師：櫻井玲子氏
参加人数：9名
飛行回数：9回
講習内容：スピンからの回復操作および低空での異常姿勢からの回復、着陸について、座学、および複座機を使っての実地体験を行った。
- ② スカイスportsに係る講習会に講師を派遣した。
- ・ 航空の夕べ2017
日時：9月23日（土） 15:05～15:45
場所：道新ホール
主催：北海道航空協会
派遣者：日口裕二
講演テーマ：誰でも鳥になれる～上昇気流で飛ぶグライダー飛行の魅力～
参加者数：150名
 - ・ 航空安全講習会

日時：10月28日（土） 13:30～17:00
場所：広島オフィスセンター
主催：（公社）日本航空機操縦士協会
派遣者：日口裕二
講演テーマ：海外でグライダー飛行を安全に楽しむには
参加者数：22名

・ JSA滑空スポーツ講習会2017in九州地区

日時：11月25日（土） 13:00～17:00
場所：福岡大学セミナーハウス
主催：（公社）日本滑空協会
派遣者：日口裕二
講演テーマ①:雲と風が教えてくれること
②1,000km飛んでわかったこと～うまくなるための海外活用法～
参加者数：72名

8. 国際交流事業の推進

① 海外に飛行教員3名を派遣し、滑空技術の向上のための情報交換を行う。

- ・派遣者：日口裕二
期間：平成29年12月21日（木）～平成30年1月17日（水）
派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場
- ・派遣者：清水拓智
期間：平成30年1月5日（金）～1月16日（火）
派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場
- ・派遣者：小野田宏一郎
派遣先：オーストラリア国ワイケリー滑空場
期間：平成30年2月1日（木）～2月21日（水）

② オーストラリア国より曳航機パイロット2名を招聘した。

招聘者：ロイド・バウム氏（12週間）
5月17日（水）～8月12日（土）
ジョン・ブライス氏（9週間）
8月15日（火）～10月16日（月）

③ 北海道のグライダーにおけるクロスカントリーの可能性をさらに広げるために、世界のトップレベルのグライダーパイロットを招聘した。

招聘者：滝沢信三氏（オーストラリア国、ナロミン滑空場）
5月17日（水）～6月4日（日）

④ 日本の航空従事者技能証明の取得を目的として操縦練習を希望する、海外の愛好家の受入れを行った。内1名は、単独飛行ができるまで技量が向上した。

受入人数：2名
出身国：中華民国、中華人民共和国

9. 国内滑空団体との連携

全国クラブミーティングに参加し、各クラブが抱える課題や我が国の滑空界の底上げのための提案などについて、意見交換を行った。

・第5回全国クラブミーティング

幹事クラブ：（公社）滝川スカイスports振興協会
開催期間：10月14日（土）～15日（日）
開催場所：たきかわスカイパーク
参加者：11名（当協会からは、日口裕二が出席）

II スカイスports啓発事業（公益目的事業2）

1. 市内・外の学校を対象とした体験学習等の受入

① 市内全小学校および新十津川小、空知太小の4～6年生までの内、1学年について、6月19日～10月26日までの間で、軽飛行機またはモーターグライダーによる体験搭乗を実施し、空から眺める郷土について、学習する場を提供した。

受入小学校数：6校（4校増）
体験搭乗者数：251名（113名増）

② 市内外の小中学校から児童・生徒の施設見学を受け入れた。

受入小学校数：5校（3校増）
体験搭乗者数：128名（86名増）

③ 滝川市内の中学校から依頼されて、キャリア教育推進事業の一環として、職場紹介を

する発表のための取材を受け入れた
受入小学校数：1校（1校減）
体験搭乗者数：5名（1名増）

2. こどもの日特別企画「こどもたちに大空のプレゼント」の開催
道内の子供たちを対象に、軽飛行機およびモーターグライダーの体験搭乗や紙飛行機教室を実施した。

開催日：5月5日（金）
体験飛行応募総数：116名（65名減）
体験者数：51名（9名増）

3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

- ① ジュニアグライダークラブは、実質的な活動は行っていないため、希望者は、青少年会員として活動した。
- ② 今年度参加した青少年会員は6名（前年3名増）であった。前年度以前から参加している3名は、着実に技術を向上させ、内1名は銅章科目（2時間滞空）および5時間滞空を達成した。
また、今年度入会した3名は、いずれも中学生以下の年齢であり、今後の成長が期待される。

4. ユース会員の支援

学生および大学を卒業した後も、社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を、ユース会員として登録した。
ユース会員数：39名

5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

- ① ヴィンテージグライダー、シェンプ・ヒルト式Gö3ミニモア及びヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー（MG19）の耐空証明を取得し、サマースカイフェスタ2017において、2機の編隊によるデモフライトを行った。
- ② サマースカイフェスタ2017において、上記2機の地上展示を行った。
- ③ MG19を用いた飛行会を行った。
期間：5月9日～11日
参加者数：9名
飛行回数：9回
飛行時間：2時間54分
- ④ VGC（Vintage Glider Club）の中心的メンバーである、Vincenzo Pedrielli氏（イタリア）と交流を図り、5月10日にMG19による体験飛行を行った。
- ⑤ 航空動態博物館内のヴィンテージ図書コーナーに全国の愛好家から関係資料をいただくと同時に、これらの分類・整理・公開充実を図った。

6. 航空青少年団体との連携

航空青少年団体の受け入れはなかった。

7. イベント支援

道内各地で開催された航空イベントに参加し、グライダースポーツおよび「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図った。

- ① 2017北海道スカイスポーツフェアin美唄
開催日：9月3日（日）
場所：スカイポート美唄
主催：（公社）北海道スカイスポーツ協会
支援内容：FOXの地上展示及びグライダー曲技飛行展示
- ② 千歳基地航空祭
開催日：7月23日（日）
場所：航空自衛隊千歳基地
主催：航空自衛隊
支援内容：モーターグライダー（ASW-28E）の地上展示

8. スカイパーク施設の管理・運営

平成29年4月1日に滝川市と「滝川市航空科学センターの管理運営に関する協定」を締結

し、施設の指定管理業務を行った。
指定期間：平成29年4月1日～平成32年3月31日

Ⅲ 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

1. サマースカイフェスタ2017の開催

サマースカイフェスタ2017を以下の要領で開催した。

開催日時：7月30日（日） 9:30～15:00

開催場所：たきかわスカイパーク

共催：滝川市

イベント内容

- ・ グライダーによる曲技飛行
- ・ M-02Jの地上展示
- ・ ヴィンテージグライダーの飛行展示、地上展示
- ・ たきかわスカイパークに駐機しているグライダーの地上展示
- ・ スポーツカイトの演技飛行
- ・ ラジコン飛行機の演技飛行
- ・ グライダー、軽飛行機、パラグライダーの体験飛行
- ・ 朝どり海産物の空輸・販売
- ・ モーターグライダーによる空中菓子まき
- ・ 地上アトラクション
 - スチレン飛行機教室
 - 滝川消防署消防車展示
 - 陸上自衛隊滝川駐屯地車両展示
 - 日本航空学園によるフライトシミュレータ体験
- ・ 滝川クラシックカーミーティングを同時開催し、30年以上前のクラシックカーの展示および滑走路の走行を行った。
- ・ 同日開催された、新十津川町ふるさと祭に協力し、開会式で軽飛行機のローパスを行った。

参加者数：7,000名

2. M-02J（『風の谷のナウシカ』に出てくる架空の飛行機「メーヴェ」を模した自作飛行機）の試験飛行の支援を行った。

飛行期間：7月8日～9月17日のうち7日間

飛行回数：ジャンプ飛行 29回

場周飛行 19回

飛行時間：延べ 60分

最高飛行高度：116m

最長飛行時間：3分50分

参加スタッフ：延べ 47名

3. 観光客等の受入

- ① 海外から、インターネットでの体験搭乗申し込みを受け入れた。
外国人体験搭乗者数：95名（香港、台湾、マカオ、シンガポール、ロシア、スウェーデン、フィリピン、ベトナム、カナダ、中国、イタリア、インド、USA）
（1名減）
- ② 観光プログラムの開発は行わなかった。なお、滝川市からの紹介で17名の体験飛行を実施した（4名減）。
- ③ H26年度に美唄・富良野・ニセコのスカイスポーツ体験事業者と合同で作成したパンフレットを、イベント会場、リリエントール、札幌駅の観光案内所および滝川市内各施設等で配布した。また、これらの体験事業者が天候等により、体験飛行ができなかった際に、体験希望者の受入れを行った。
- ④ インターネットを経由して、旅行会社から173名の体験搭乗の依頼があった。
（2名増）

4. グライダー等による体験飛行会の実施

- ① 滝川市民を対象とした体験搭乗会を実施した。
体験者数：245名（47名増）
実施期間：7月26日（水）～7月29日（土）の4日間
- ② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。
参加人数：632名（82名減）

- 実施期間：4月15日（土）～11月5日（日）
- ③ 滝川市ふるさと納税におけるお礼の品として、グライダー体験飛行を提供し、寄附をされた方々に搭乗券(2年有効)を送付した。
今年度実施した体験飛行
・10分コース：6名（1名増）
・20分コース：2名（1名増）
・30分コース：0名（1名減）
- ④ 滝川一心会の体験飛行会の受け入れ
参加人数：8名（1名減）
実施期間：9月23日～10月22日

5. 「そらぶちキッズキャンプ」の支援

(公財)そらぶちキッズキャンプを支援するため、キャンプが実施している「そらぶち野菜ボックス・チャリティ販売」のおたのしみ品の一つとして、体験搭乗券を提供した。

IV スカイスポーツに関する調査研究事業(公益目的事業4)

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

- ① ホームページ、掲示板、フェイスブックによる情報発信に努めた。
- ② 滝川グライダー競技講習会2017（前述 I 4.）および全国クラブミーティング（前述 I 9.）の際に、国内外のグライダークラブとの情報交換、連携を図った。
- ③ パンフレットの活用、観光業者との連携
11月28日（火）に（一社）北海道体験観光推進協議会主催の北海道観光商談会に出席し、観光事業者にグライダー体験や当協会事業についての売り込みを行った。

V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等を、計画通り実施した。

開局期間：4月2日（日）～11月17日（金）

VI 利用者への施設提供事業(その他の事業1)

たきかわスカイパーク利用者への各種の施設提供を、計画通り実施した。

宿泊施設の利用状況

- ・利用者数：延べ236名（13名増）
- ・延べ宿泊日数：801日（27日増）
- ・1人当たりの平均宿泊日数：3.8日/名（0.3日/名増）
- ・施設稼働率：22%（昨年同数）

航空安全

ひやり・はっと情報の取り纏め・開示やそれらの情報で明らかになった課題を解決するための対策を講じ、無事故日数 1,036日 を達成した。

管理部門

1. 会員

非会員のサマーレーニングコース参加者に、入会の勧誘を行った。また、体験搭乗者、イベント等の来場者や動態博物館見学者等に、グライダー活動の説明を行い、勧誘に努めた。

会員の入退会状況

2018年3月31日現在

会員種別		H25	H26	H27	H28	H29
正会員	個人	170 7 9	151 7 26	135 10 26	121 8 7	114 8 9
	法人	16 0 1	16 0 0	17 1 0	17 0 0	17 0 0
特別会員	個人	4 0 0	4 0 0	3 0 1	3 0 0	3 0 0

	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		192	173	157	143	136

小数字 左:入会者数、右:退会者数

名誉会員		2	2	2	1	1
賛助会員	個人	11	11	11	20	25
	法人	6	6	6	3	3
連絡会員		2	1	1	0	0
ユース会員		17	22	27	34	39
青少年会員		1	2	2	3	6
総計		231	217	206	204	210

2. 理事会・総会等

・第1回理事会

開催月日:平成29年4月28日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:新規加入会員及び退会者について

決議事項:平成28年度事業報告書及び付属明細書の承認、平成28年度財務諸表及び
関連書類の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席9名
出席監事の数2名

・第2回理事会

開催月日:平成29年5月19日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:理事の職務の執行状況

決議事項:新規加入会員及び退会者の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名
出席監事の数2名

・第1回総会

開催月日:平成29年5月19日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:平成28年度事業報告書及び付属明細書、平成29年度事業計画及び収
支予算

決議事項:平成28年度財務諸表および関連書類の承認、役員を選任の承認

出席等:定足数71、出席会員議決数82、出席理事8名、出席監事1名

・臨時理事会

開催月日:平成29年5月19日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項:会長、副会長、常務理事の選任の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名
出席監事の数2名

・第3回理事会

開催月日:平成29年11月27日(月)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:平成29年度事業の執行状況、平成29年度予算の執行状況、職務の執
行状況

決議事項:新規加入会員及び退会者の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席9名

出席監事の数1名、欠席1名

・第4回理事会

開催月日:平成30年3月22日(木)

場所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:新規加入会員及び退会者、平成29年度決算見込

決議事項:平成30年度事業計画書及び収支予算書の承認、資金の取り崩し方針並びに積立期間延長の承認、役員の選任案の承認、航空機の整備に関する契約の承認、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名

出席監事の数2名

3. 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページおよび管理棟掲示板を用いて、法人運営に関する情報を公開した。

4. 業務執行体制の整備と強化

理事9名の体制で業務管理体制を維持するとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

5. その他

① ソーラープレーンSP-1の試験飛行の支援を行った。

・飛行日:6月20日(火)～6月21日(水)

飛行回数:3回

総飛行時間:2分41秒(最長1分3秒)

試験項目:ジャンプ飛行

・飛行日:8月21日(月)～8月23日(水)

飛行回数:13回

総飛行時間:14分50秒(最長1分26秒)

試験項目:ジャンプ飛行、旋回飛行(S字)

参加スタッフ:10名

② 平成30年7月に開催が予定されている「2018電動模型航空機世界選手権」に関し、「北門信用金庫まちづくり基金」事業に応募し、採択された。

助成金贈呈式:11月27日(月)

③ 「2018電動模型航空機世界選手権」の開催を支援するため、「2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会」(委員長:中島健会長)を立ち上げ、積極的に支援することになった。

第1回会議:9月5日(火)

④ 「グライダーの街たきかわ」をPRするために、JR滝川駅駅前広場に、グライダー(ICA IS-28B2)を展示した。この事業は、来年度以降も継続する予定である。

展示期間:4月8日(土)～11月3日(金)

⑤ 全国七大学総合体育大会航空競技会に操縦教員を派遣した。

・派遣者:石井誠

・期間:平成30年2月27日(火)～3月6日(火)

・派遣場所:関宿滑空場(千葉県野田市平井)

・主管:北海道大学

※平成29年度事業報告書には、

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年 4月

公益社団法人 滝川スカイスports振興協会